

もくじ

- ・ しっぽのつり

しっぽのつり

げんさく 原作：にほん むかしばなし 日本の昔話

イラスト：フクナガ リョウコ

へんしゅう 編集：YellowBirdProject

ある、^{ふゆ}冬の^ひ日の^{あさ}朝。

^{もり}森は、^ふ降り^つ積もった^{ゆき}雪で^ま真っ^{しろ}白です。

^{なか}お腹を^{いっびき}すかせた一匹の^{すあな}きつねが、^で巣穴から出て
きました。

「あ～^{なか}お腹すいた。なにか^た食べられるものがない
かな・・・」

^た食べ物を探して、^{さが}里の^{さと}近く^{ちか}まで^お下りてみると、
きつねはそこで、^みかわうそを見つけました。

かわうそは^{いけ}池にもぐっては、^{じょうず}上手に^{さかな}魚をとって
いました。



きつねは、かわうそに^{こえ}声をかけました。

「なあなあ、かわうそどん。オイラ^{なか}お腹がへって、
もうふらふらなんだ。オイラに、^{さかな}魚を^{すこ}少しだけ
^わ分けてくれねえかな」

かわうそはおどろきました。今^{いま}まできつねに
イタズラされたり、だまされたりしたことはあっても、
お願^{ねが}いされたことは、一度^{いちど}もなかったからです
そこでかわうそは、きつねに^{ひごろ}日頃の^{しかえ}仕返しをして
やろ^{かんが}うと考えました。

「・・・そうか。わかった。ほらきつねくん、
いっしょに^た食べよう」

かわうそは、きつねに^{さかな}魚を^わ分けてあげました。

